

日本で感じたこと

台湾

黃淑茹

皆さん、こんにちは。私は黄と申します。二年前に台湾から参りました。今日は、日本で感じたことを話したいと思います。

私たちは、異国からの旅人として、それぞれが異なった理由のために、自分が成長し劇染んだ故郷を離れて、見知らぬ国に来て、新しい人生を歩んでいます。私は日本に来てもう二年になりました。何も言葉の準備ができて、この見知らぬ土地にやって来ました。

当初は、日本語が聴けない、話せない、読めない、書けない、その上、友達もいないし、とても寂しかったです。現在は、東大知市の三つの日本語教室に通って、日本語を勉強し、だんだん生活が変わってきました。

今までの二年間に私は日本語教室の中で、世界各地から来た学習者や経験豊富な先生方に会いました。深い縁によって、同じ教室で日本語を一緒に勉強する機会に恵まれました。私が学んだのは、日本語だけでなく、多く

3
の生活の問題や疑問の解決でした。初めて日本に来て、驚くことが沢山ありました。例えば、日本の生活習慣とか、文化の違いとか、食材の種類と料理方法の違いです。そして、日本の気候は、春と秋が短くて、冬が長く、夏が長いです。更に、国産品、光熱水道代、交通費と大学の授業料が高くて、一軒家の番地番号が分かりにくいです。また、高校生の女の子が化粧する。こんな寒い冬にもスカート履いて学校へ行く。学校の授業時間はと

4.
ても短い。が学校の活動に両親の参加する頻度が高くて、多くのお母さんは、パートさんが専業主婦です。これはすべて、私の母国の習慣とまったく違うところですよ。先生方に説明されて、だんだん理解できるようにになりました。

これからも、もっと努力して、日本語を学び、生活の中で直面することにも新しい挑戦をして、一つ一つの目標に向かって努力したいと思えます。子供は親に勇気を与えて、く

れます。私にとって、新しい国である日本では、自分自身が日本人となるように、新しいものを学び、前向きで積極的な態度で子供を教養し、子供の模範になりたいです。

先生方は、外国から来た私たちに心を聞いて、例えば、体が悪い時は、病院まで付き添ってくれるなど、献身的に、いつも親のような配慮と励ましを与えてくれます。本当に、心から感謝しています。先生方の応援があるので、私たちはもっと勇気を持って、夫夫に向

かって行けるでしょう。そして、私たちの人生をもっと幸せにすることができそうです。最後に、先生方のご健康とご長寿をお祈りします。その後とも宜しくお願い致します。